

「認知症 声をかけ みんなを支え合う 笑顔のまち」

田富地区小地域ケア会議では

田富地区でも認知症の人が
増えていることを学び
認知症について、正しい理解を
広めていこうと活動しています。

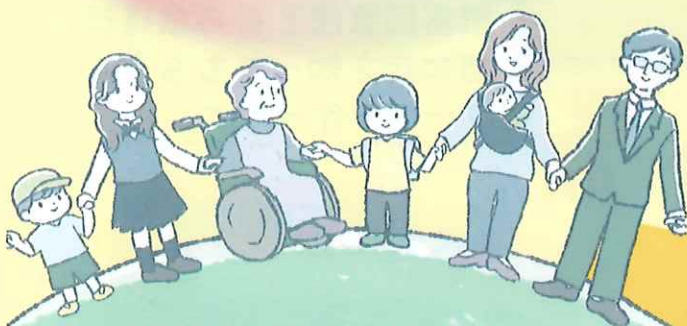
一緒に声をかけ支え合う認知症に
やさしいまちをつくりましょう。



本人だけでなく、
家族だって
不安や焦りを抱えています。



大切なのは、
地域で支えること。
地域がつながること。



まずはできることから・・・

さりげない見守り手助けを！

田富地区小地域ケア会議は、医師、歯科医師、
民生委員、ボランティア団体、ことぶきクラブ
などの住民で構成される会です。

認知症の人の気持ち

認知症になると何もわからないのは、
間違いです。

不安、悲しみ、自信喪失、恐怖、焦り
“感情”は残ります。

話すときに

気をつけたいポイント

- ❖ 後ろから話しかけずに本人の視界に入ったところで話す
- ❖ 失敗を責めたり、プライドを傷つけるような発言は避ける
- ❖ 要点は短く伝える

ご相談ください

認知症に関する相談を随時受け付けています
中央市地域包括支援センター
電話 055-274-8558



認知症冊子のご紹介

「もしも 気になるようでしたら
もしも お読みください」



発行元
社会福祉法人 東北福社会
認知症介護研究・研修仙台
センター

認知症について違和感がある方、
そしてご家族へ向けた冊子です。
認知症への向き合い方や対処法
などが書かれています。
早めに気付くことが大切です。
ぜひ、一度お読みください。

仮に認知症と診断されてもその日から何も
できなくなるわけではありません。
相当進行するまで、あなたの生活にとって
重要な能力は失われることはありません。
認知症と、加齢によるもの忘れは明確に
区別できるものではありません。すべて
あなたの人生の連続の中にあります。繰り返
します。認知症という病気は、私たちの
人生の一部です。（本文より抜粋）

QRコードから冊子をダウンロードする
ことができます。
市役所内にある地域包括支援センターで
も冊子を配布しています。



世界アルツハイマー月間周知活動



世界アルツハイマーデーの
9月21日に『た・から』で
認知症の周知活動をしたよ。



田富図書館と長寿推進課前に
認知症を知ってもらうための
ブースを作ったよ。

R6.11.6 開催

「西花輪第1自治会」で
認知症の方が行方不明に
なってしまったときの、
探し方や見つけたときの
声のかけ方を学んだよ。

田富地区小地域ケア会議では、
キャラバン隊として、今後も
普及啓発に努めていきます。

SOS 検索模擬訓練



田富地区小地域ケア会議発行